

第4回新校準備会

第4回新校準備会の概要は以下に示すとおりです。基本計画素案(これまでの検討状況)を基に、意見交換を行いました。

第4回新校準備会概要

項目	内容
開催日	令和4年(2022年)8月5日
対象	各校の校長及びPTA会長、各校区自治協議会会長、周辺保育園の保護者代表
実施方法	対面
場所	天明まちづくりセンター 天明ホール
参加人数	14人
内容	・ 基本計画(これまでの検討状況)及び義務教育学校開校までの教育環境の整備の説明、意見交換 ※教育環境の整備について - 義務教育学校の開校へスムーズにつなげるために、新校舎完成までに子どもたちの教育環境の充実をどのように図るべきか、事務局が3つの取組例を提示 - 取組例①:小学校は4校体制のまま小中一貫教育の取組を推進 - 取組例②:義務教育学校型の仮設校舎を設置し、その後、施設一体型義務教育学校へ移行 - 取組例③:4つの小学校を先行して一体化し、分離型義務教育学校へ移行
資料	・ 天明校区施設一体型義務教育学校基本計画(これまでの検討状況) ・ 義務教育学校開校までの教育環境の整備 ・ 天明校区施設一体型義務教育学校「新校準備会だより」 ・ 第3回新校準備会で出された意見への回答内容
テーマ	資料の内容について説明

第4回新校準備会 基本計画(これまでの検討状況)への意見

類型	意見
防災機能	・ 防災に係る各機能について、基本計画の段階で整備方針を定めるべきではないか
施設計画	・ 廊下や階段を含めて施設を総合的にみて、子どもたちの学びのスペースをつくってほしい ・ 子どもたちに、個人のロッカーがあるとよい。低学年も含めて、きちんとした更衣室で着替えたほうがよい ・ 社会学習で使う古い道具等を保管するような室を設けてほしい
跡地活用	・ 閉校後の小学校の跡地をどう活かすか。学校跡地の運営方法を組み立てていく必要がある

第4回新校準備会 義務教育学校開校までの教育環境の整備への意見

類型	意見
教育環境の整備	・ 取組例の②と③について、教育環境の充実を早く取り組めば、それだけ成果はあるということは理解したが、費用と2回の引っ越しの負担が大きいのではないか。 ・ 取組例の②と③について、子どもたちや職員が環境に慣れたところに、また新しい校舎に移る必要があるため混乱を招くのではないか。 ・ 子どもたちが安心して学ぶ仕組みをつくりあげるまでの期間が必要。取組例①で進め、新校舎の供用開始時に義務教育学校をスタートすればよいのではないか。



第4回新校準備会の様子